

テーマ5	AIを活用した外国人向け行政サービスの情報発信の仕組みの構築（袋井市）
------	-------------------------------------

1. 解決したい課題の内容

- ・袋井市の外国人住民は、令和6年4月1日現在、45 か国からの 5,652 人であり、外国人比率は 6.4%、10 年前に比して 1・9 倍で、今後も増加傾向である。
- ・外国人住民に向けては、日本人と同様に、市ホームページにより情報発信しており、イベントや政策の強化月間などの情報は別途プッシュ型で市の情報発信ツールである「メローねっと」（各種気象災害情報など、市民生活に役立つ様々な情報をメールや LINE で受け取ることができる、市の情報配信サービス）で配信している。
- ・検索エンジンによる市のホームページ内の情報検索は、文書量が多く外国人住民にとっては煩雑で必要な情報が探しにくいという課題がある。
- ・また、例えば市内に約 3,000 人在住するブラジル人が使うポルトガル語については翻訳変換対応もしているが、そもそも原文となる日本人向けの行政情報は複雑であり、翻訳作業にかなり労力を要する上、国籍の多様化が進んでいることから、多言語対応では限界がある。

2. 実現したい目標について

外国人住民が、ライフステージや属性に合った必要な情報をリアルタイムに取得でき、理解できる。

3. 必要とする技術について

以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・市 HP 内にある情報を、内容に応じて分類する文字認識・内容把握する AI 技術
- ・ライフステージや属性、生活スタイルに合わせ判断し通知する仕組み
- ・行政情報を外国人むけに翻訳する技術
- ・上記を搭載したスマートフォンアプリケーション等の開発技術

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

※実証内容は以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・袋井市 HP や行政情報を活用して、市内在住の外国人に協力いただくなどして、提案技術を搭載したアプリケーションを実証的に使ってもらい、使用感や効果を検証する

※類似するテーマ〇〇は「やさしい日本語」への変換を簡便することを目的にしているものだが、本テーマでは「やさしい日本語」への変換とは別に、各個人に必要な情報を共有することを目的としている。

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・袋井市「ふくろい多文化共生のまちづくり計画」

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/51/1/9384.html>

- ・袋井市「袋井市情報配信サービス『メローねっと』」

https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/4/city_promotion/1585124813875.html